

安全対策／その他

鋼索線（男山ケーブル）

鋼索線は、鋼索（ワイヤロープ）に繋がれた車両を巻上装置で巻き上げて運転する仕組みになっています。そのため運転士は山上側にある運転室で巻上機の操作に当たり、ケーブルカーの車内には車掌が運行中の前方確認や扉操作のために乗務します。このように運転士が車内にいないことや急勾配で運転するため、特にブレーキ装置や鋼索の点検・整備には細心の注意を払い運転保安に努めています。



鋼索の点検・整備

ひらかたパーク

当社が運営する「ひらかたパーク」では、一部の遊戯機のメンテナンスを寝屋川車

両基地で行っています。鉄道会社直営の強みを活かし、ひらかたパークと車両部門が協力し、高いレベルの技術で遊戯機の安全を支えています。



ジェットコースターの分解整備

自然災害対策

気象観測機器

当社では、各種気象観測機器として風速計16カ所、雨量計5カ所、河川監視カメラ3カ所、地震計8カ所を沿線に設置しています。観測データによって適切な運転規制を行い、暴風・豪雨などの異常気象による運転事故の発生を未然に防止しています。



気象状況表示装置



雨量計



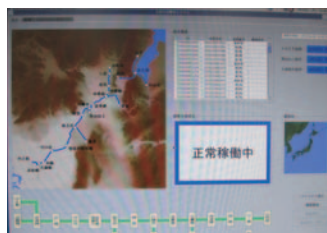
湿度計

風向風速計

早期地震警報システム

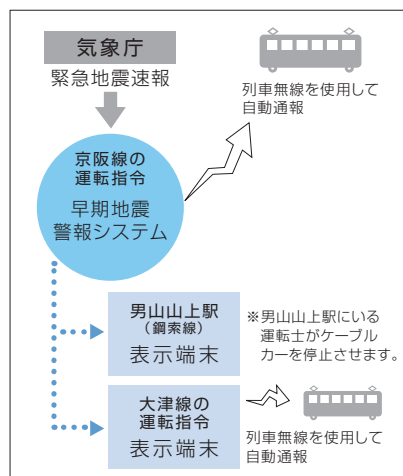
気象庁から配信される緊急地震速報を利用して、当社線沿線で震度4以上が予測される場合は、自動的に列車無線で全列車に対して通報することにより、大きな揺れが到達するまでに危険箇所を避けて緊急停止を行い被害の最小限化を図ります。

大津線・鋼索線にも表示端末を設置し、地震情報を受信できるようにしています。



早期地震警報システム

早期地震警報システム



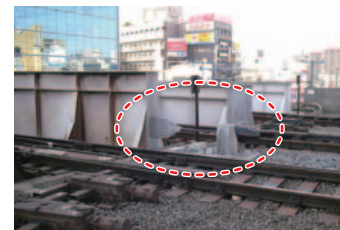
駅施設の耐震補強

運転保安上必要な駅施設の耐震性能向上を目的に耐震補強を行っています。

平成21年度は守口市駅、萱島駅、樟葉駅、中書島駅、深草駅の操車棟と、寝屋川交換局舎の耐震補強工事を行いました。

落橋対策

落橋防止装置とは大規模地震時に橋桁が橋台や橋脚から落下するのを防ぐためのものです。阪神淡路大震災以降、設置必要箇所の抽出を行い、京阪線の対象箇所すべてについて設置が完了しています。



落橋対策